令和7年7月地域計画変更_豊川市地域計画検討会質問・意見と事務局の回答

連番	ご質問・ご意見	事務局の回答
1	<p>認定新規就農者が3名あるが、新規就農に対する関係機関の支援はどのように受けているか。豊川市としての支援はどう活用されているか。</p>	<p>新規就農者向けの地域サポート体制として、技術・経営指導（東三河農林水産事務所農業改良普及課、JAひまわり営農企画課）、農地確保支援（豊川市農業委員会）、機械・施設等の確保支援（JAひまわり営農企画課）、資金相談（JAひまわり融資課・金融課）、認定計画の作成支援・補助制度の周知（市）など、支援分野ごとに担当機関を定め、必要に応じて、担当機関の間で情報共有を図っています。</p> <p>今回の新規就農者3名の内訳は、新たに農業経営を開始した方が1名、親の農業経営を継承した方が2名です。融資制度を活用する意向があったので、市として、認定新規就農者や認定農業者となるための、認定に係る計画作成の作成支援を行いました。</p>
2	<p>農業の担い手の経営作目等について、具体的に記してあるものとそうでないものがあるので、統一してはどうか。</p>	<p>市としては当初、より詳細な地域計画を策定し、地域での話し合いが円滑に進むよう、認定農業者等、経営作目等について書類上、明確に分かる方については詳細に記載（ミニトマト等）し、それ以外の方についてはカテゴリー（野菜等）の記載としていました。</p> <p>しかしながら、認定農業者等が、経営作目を追加・変更をした場合、厳密には、それ自体が地域計画を変更する必要があり、その都度、認定農業者等に変更に係る申請を提出いただく等の事務負担がかかることになり、「露地」「施設」「水田」や、「野菜」「花き」「畜産」程度のカテゴリーで記載している市町村もあります。</p> <p>ご意見を踏まえ、今後、詳細に記載している市町村、そうでない市町村の意見を伺いメリット・デメリットを整理の上、統一することを検討してまいります。</p>